

令和8年度市民まちづくり活動支援事業「課題解決協働活動」

募集テーマ①

募集する課題名	市民活動による「防災力向上」と「共助」の仕組みづくり		
提案課室名	災害支援課	連絡先	22-7087
想定される取組み	<p>災害時に行政における「公助」だけでは、対応に限界があることを踏まえ、市民一人ひとりが防災を「自分ごと」として捉え、平常時から主体的に関わる仕組みをつくることを目的とする。また、地域や市民活動団体が有する柔軟性、創意工夫、ネットワークを生かし、地域の実情に即した防災・減災の取り組みを展開することで、「共助」による地域防災力の向上を図る。</p> <p>市民・地域団体・NPO等が主体となり、地域の実情に応じた新たな防災・減災の取組を実施する事業を対象とする。</p> <p><主な想定取組例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民向け防災啓発活動（講座、ワークショップ、訓練、展示等）を通じ、防災知識の習得と行動変容を促す取り組み ・ 防災・減災をテーマとしたシンポジウム、フォーラムの開催により、多様な主体が防災について考え、顔の見える機会の創出 ・ 学生（小学生～大学生等）を対象とした防災教育、人材育成の取り組み（防災ワークショップ、フィールドワーク等）または避難所運営体験、災害対応模擬訓練等の実際の体験を通じ、若年層の防災意識の向上と地域との関係性強化 ・ 災害ボランティア団体や個人ボランティアの育成を目的とした研修、交流、ネットワーク形成 ・ 要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児、外国人等）に配慮した支援体制や避難行動の検討、実践 ・ ペット同行避難やペット防災をテーマとした取り組み（飼い主向け啓発、地域でのルールづくり、避難所運営を想定した体験型訓練等）を通じ、人と動物が共に安全に避難できる体制づくり ・ 地域特性や災害リスクを踏まえた避難行動や支援方法の検討、実践 ・ 平常時からの顔の見える関係づくりを目的とした防災活動 		

<p>背景 / 現状 / 課題</p>	<p>本市は、30年以内に高い確率で発生すると言われていた「南海トラフ巨大地震」によって地震・津波による大規模な被害が想定されており、災害時には行政による支援「公助」だけでなく、地域や市民による「共助」の力が重要となる。一方で、以下のような課題が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災への関心や取組が広がりつつあるが、市民全体に広げるための更なる取組の強化が必要 ・ 防災訓練や啓発活動について、実践的な学びに繋がるような多様な企画の展開が必要 ・ 災害ボランティアの担い手不足を解消するため、継続的な育成の仕組みが必要 ・ 要配慮者支援について、地域ごとの実情に応じた取組の強化、仕組みづくりが必要 ・ 若年層（ファミリー、学生）への防災意識の向上に向けた取組が必要
<p>事業に期待すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民一人ひとりの防災意識の向上と主体的な行動の促進 ・ 地域コミュニティにおける共助の強化と継続的な防災活動の定着 ・ 災害ボランティアや支援人材の裾野拡大と育成 ・ 要配慮者を含めた誰一人取り残さない防災体制づくり ・ 行政施策だけでは届きにくい分野への新たなアプローチ

※本テーマの詳細については、提案課室までお問い合わせください。

※申請にあたっては、提案課室との協議を十分に行ってください。